夕刊
七月一日發行
日曜祭日翌日休刊

澤村公遺德 (9)

神谷小學校

思ひ西覺寺和尙良拓法師に

寄贈書目

△青蔭（六月號）地方俳誌ながら紺碧に澄んでゐたゝに興味を覺えてゐた彼に、境の曉將渡邊何鳴氏を中樞の繁葉の綠は水々しかつ心に創刊された俳誌。半たし、清洌な小流れの水はせゝに濟んだ、乘馬の愉悅谷紹村の扉句をはじめ伊小魚を浮べて、絕えず唄つ藤寒山子、金成磐洲子、たのであつた。和喜次の夢は、石橋柴子、山下華資子が徐々に破られてゆかねばな吟行や選句に全卷を賑はしてゐる。（非賣品會員僕の推乳の終るのを待つて費十錢、磐崎村白鳥鑛泉喜樂屋方青蔭吟社）

殘花

上原　清

薄ら
香ふた
面は似たれ
君が最後の
面影か
はかな
しろ〳〵
殘れる花は
まかりし人を
偲ぶるか
赤く
にじんだ
花粉のあとの
消ゆるばかりに
しほるるよ

小說

高橋是清

(54)

松浦泉三郎作

佐々木今朝吉畫

桑港・オークランド（四）

和喜次はブラウン家へ移つた。

オークランドの空は、相異人館の惡童時代から、馬見ず紺碧に澄んでゐたゝに興味を覺えてゐた彼に、境の曉將渡邊何鳴氏を中樞の繁葉の綠は水々しかつその役は、さして苦痛を感心に創刊された俳誌。半たし、清洌な小流れの水はせゝに濟んだ、乘馬の愉悅谷紹村の扉句をはじめ伊小魚を浮べて、絕えず唄つ藤寒山子、金成磐洲子、たのであつたが、和喜次の夢は、石橋柴子、山下華資子が徐々に破られてゆかねばな吟行や選句に全卷を賑はしてゐる。（非賣品會員僕の推乳の終るのを待つて費十錢、磐崎村白鳥鑛泉僕の推乳の終るのを待つて喜樂屋方青蔭吟社）

和喜次は憤慨した、然し家庭に育てられた子が、幼

佐渡、伊香保へ

渡邊何鳴

下

佐渡巡遊

〔郭公や眞野山陵の松深く
郭公やたゞ松籟の天づたう
相川一泊
荒浪を染めて踊りの落衣かな

夏潮にぬれて渚のさゞれ石
礦山は夏金銀の水苔く滑める
ほとゝぎすあれは一夜の旅人ぞ
六月十八日早曉出發
夏潮に出航の銅羅いまゝ鳴れり
夏潮にテープたゞよへ島を發つ
新潟より一路伊賀保へ
六月の雪山窓をはなれ

ざる
伊賀保一泊
天霧ふ高嶺の夏花こゝにひざく
温泉の灯榛名の霧が來てうばう
六月十九日榛名へのぼる
榛名不二天霧ふかくあらはれず
夏霧に湖上の茶はかくれゆく
鈴蘭のこゞしき花は霧にぬれ
夏霧に御朱印にじみお

鎌倉

島田忠夫

○にはか雨あがりて暑し雷は沖つ海べに遠ざきにつつ
○立ちこめし潮霧はれて渚原今宵は月の明るかりけり
○晝のまの暑さ殘れる夕庭に松葉牡丹の花しぼみたり
○合歡の葉を洩れてさす陽の明るさよ暫し秋めく風立ちにけり
○朝々は風やや冷えてすがすがしとこまでとどく陽は暑からず
○夜更くれど波音高し嬉き身の已れはかなくた震慮りゐる
○あれあとの濕れる庭におり立ちて松の落葉を掃きよせにけり

寄元水産試驗場長飛塚高次氏（其ノ一）

珠玖　小野務亭

分袂三年思慕深
絕魚稚跡意餘沈
颺然來會颺然去
杯酒無由割寸陰

提ともなれ
自らの双に伏した我が夫
勝爲の死骸を運んで利安寺
へ埋めたのは妻であつた。
（一說に死骸は勝爲に使役された人夫の心ある者、又大館西覺寺の僧侶が運んだともいふ）

……上平窪村利安寺有一碑題曰一發院殿毅景利道居士側有明曆元乙未七月十四日澤村勘兵衛…（瀧川濟撰文仰澤碑）

三井呉服店の夏衣大賣出し

涼味溢るゝ夏の御召物、京呉服、ジヨセット、中形……
全店夏の商品豊富大特賣
……七月一日ヨリ……七日間……

獨特のおつとめ品
本染モスリン着尺　金貳圓五拾錢
バラマウント着尺　金貳圓五拾錢
絹紬男物　金貳圓五拾錢
手拭浴衣地　金七拾錢
名古屋帶仕立上　金壹圓
ホロかや　金參拾錢
絹金丸帶　金參圓五拾錢
絹小紋　金參圓
絹ボーラ銘仙　金六圓五拾錢
夏掛フトン仕立上　金壹圓六拾錢

御中元贈答用品大奉仕
御恰好な御値段の商品が豊富に入荷致しました如何樣にも承ります
婦人倶樂部掲載總額壹萬圓大賜賞つき
千代きぬ明石…大賣出し
本染中形陳列會
御贈答に　これが一番　御重寶な　商品券
雜貨洋品部新設
御子樣方のパンツ、タオル製品、既製品服地などの新製品豊富に取揃へ大奉仕
かや大賣出し
ほろかや、綿、本麻かや、白かやの別選品を大々的大廉賣致します。

三井呉服店
電話　三八・二八四番

磐城の御みやげ品

名物　靈峰羊羹　金十錢
姉妹品　柿羊羹。のり羊羹。
沼ノ内辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望のお申越下さい。
小川鄕驛前
製造發賣元　平屋賣店

平町田町（電話五三一番）

高久病院

醫學士　高久忠清
新潟醫學士　赤羽久
藥劑士　佐竹菊雄

小兒科
花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

耳鼻咽喉科

高柳醫院

平驛前（電三三六）
醫學博士　高柳博明

（入院應需）
（自炊ノ便アリ）

吸入酸素純度90%

關内藥局

電話四〇番

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計

◎秤ノ取引ヲ始メ糸・綿・麻・絹ノ染メ・織リ・修理ニ至ルマデ復致シマス

産婦人科

外科

藥局

院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄

平町新川町十九番地
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

急告

豆タク！の出
豆タク！現

春のドライヴに、商用に
迅速　低廉　市内三〇錢　市外地普通料金四割引

鈴木自動車豆タク部
四丁目　電話二一七

耳鼻科　喉科　專門

平町南町一六番地
大和田醫院
（入院隨意　病室完備）
電一七〇番

美味デ滋養分豊富ナ
にんべんノ
新鰹魚節
ガ出來マシタ。

宍戸屋商店

平町四丁目
電話（鹽干部）二一五番　（鮮魚部）四〇七番

日華生命保險株式會社代理店

外務社員募集

（委細面談）

吉田眼科醫院

醫學士　吉田久雄

平町紺屋町　電話六八番

有望村平窪と共に 南赤井も賛意を表す
けふ町長以下初交渉

市制施行に光明

郷かしい『平市建設』を目指して急いで居る隣接村合併問題は炭礦所在村たる内郷、好間兩村の反對表明から殘る平窪、神谷、飯野の三ケ村を最後の望みに過般來交渉を進めて來たが既に平窪村は村會に於て合併を承諾し唯正式通知を待つばかりとなり、更に隣村赤井でも平窪を通じ南赤井合併の意志を洩らして來たので町では今一日午後から菅沼町長以下部長連が赤井村幹部と會見第一回折衝を進める處あつた、前記兩村の合併反對で市制施行に一大障礙を投じてゐたが二ケ村の合併により市制施行促進に光明を見出し飯野、神谷の兩村に合併を促して市制施行に邁進することになつた

兩村の合併で早くも人口三萬
交渉を前に某部長談

有望視される赤井村との合併交渉に先き立ち某部長は

この合併の有望視されてゐる處は平窪村に接近した南赤井部落で人口が約三千名位あり平窪村も三千三百名だから若し兩村の合併を見れば市制の標準人口たる三萬にはなるわけだ、平窪村も先進地の視察によつて自覺し殆ど賛意を表してゐるのだから努めて交渉を進めやう

と語つてゐた、尚若し前記南赤井が平町と合併する事に決ればその北部は下小川に編入するのではないかと見られてゐる

縣の指示を受け更生への門出
計劃樹立を急ぐ三村

郡下今年度の經濟更生指定村たる下小川、川部、磐崎の三ケ村では愈よ堅實な計劃を樹立して更生へのスタートを切る事となり今一日午前九時關係者が平關係事務所に參集、縣から出張した

(縣廳側)成島 赤澤 白木各技師 照沼社會主事 磯部主事補 (縣農會)佐藤技師

から種々計劃樹立に關する指示を受けた上今秋十月迄に大綱を樹立明春早々村民列席の下にこれが宣誓式を擧げる事となつた

女教員帝都視察 郡第三區女教員會幹部五名は明後三、四の兩日東京、千葉方面に教育視察を行ふ

第二磐炭採掘許可 第二磐炭會社出願に係る磐崎、渡邊兩村に跨る五十二萬七千二百坪の石炭採掘は此程許可となつた

町内を四方部に分け戸數割委員會始まる
本會議は五、六日頃か

平町十一年度特別稅戸數割賦課額八萬七千四十圓を審議する委員會は既報の如く今一日午前九時から町内を四方部に分けて開かれ明後三日頃迄繼續、本會議は大體五、六日頃であらうと、尚方部委員長左の如し

(東)井上茂作 (西)川崎文治 (中)野崎滿藏 (北)佐々木龍若

副業助成金

縣經濟更生課副業係では昭和十一年度副業奬勵費として三十日四十六組合に對し二千七百八十圓の助成金を交付することに決定したが、本郡關係組合左の如し

△四倉藁工生産組合四七圓△鹿島村農會四七圓△飯野村農會四七圓

老若男女百四十名
平紹介所の登錄進む

平職業紹介所の勞働者登錄は一昨二十九日から行つて居るが今一日午前中の申込みは 男一〇八名 女三一名 計百三十九名に上り四日の締切り迄には相當多數に上るものと見られてゐる

告發僅か二件
案外成績のよかつた 春繭取引の度量衡檢査

高値五圓を突破した春繭の出廻り最盛期に際し平署では不正秤によりボロイ儲けを占めんとする奸商狩りを行つたが、きのふその成績が纏つた

管内十九ケ町村の檢査人員千百八十一名に對し目盛り不鮮明其他の不正件數が五十三件でこの處分が告發二件、戒諭四十五件、昨年に比し良好な成績であつたと

公金を盜み出し 滿洲高飛びの一歩前
植田生れの小川長藏捕る

植田町生れ炭城縣磯原町諏訪町居住磯原郵便局員小川長藏(三二)は昨三十日午前二時を期して行つた助川署の捕賊演習の網にひつかゝつた

同人は廿九日郵便局內赤行嚢の中に現金八百圓を入れて置いたのを知り午後九時頃郵便局に忍び入つて赤行嚢を破つて八百圓を盜み出し高萩及び助川花柳界で豪遊滿洲國に高飛びせんとして助川驛に向ふ途中と判明した

想定と殆ど同樣な犯人の逮捕に助川署では凱歌をあげ

農會でも振興株應募
早くも四十株決る

郡下町村農會でも東北振興兩會社の株式を引受ける事となり目下郡農係で募集中だが早くも大野十株、内郷三十株が決つた

電話 至急讓り受け度し (姓名在社)

投槍
投書歡迎

狒猴東帶の店員

◇或る金物屋へ鑢(やすり)を買ひに行つた、成るべく大いのといへばありませんと言ふ、裝飾窓の中にあるのは何んだと聞けば店員の言草が振つてる『鑢は三寸以下の物を指して言ふもので其れ以上大いものは鑢と言はないで何んとかと言ふものであります』と、斯言ふ番頭さんが居ては繁昌しないのも尤だ

◇客に對して 親切は必要だが物を數へては可けない。デパートが繁昌する所以は一軒の店で多種類の買物が出來る事、流行品を買へる事、品質が比較的確實である事などに由るがデパートが有する最大の特質は買ひ易いと言ふ一言に盡きる、買ひ易いと言ふ事は自由に撰擇し得る事なのである

◇客は自己の 得心の行く迄半日でも一日でも今日撰擇し得なかつたら又明日出直して撰擇する、此の間何人の干渉も受けない事がデパート買物の千金の價値ある處である。個人の商店ではどうしても店員が彼是れと親切ごかしの干渉をする、之が顧客に小五月蠅のだ、安價であり確實でさへあれば顧客が喜ぶものと思つてはならない

◇假令其れが 一顧の價値なき馬鹿氣た物でも客の要求に合致した際に無限の價値を生ずる事を忘れてはならぬ。客の要求する滿足とは必しも商品の實用價値のみでない事を小僧番頭君に告げておく

(牙城生)

獵奇滿點 多彩的な證人に傍聽は犇めく
けふ長橋事件の公判

平町研町綠雨事山田政好(四五)に係る恐喝、暴行、住居侵入事件の公判は、今一日午前九時から平區に於て香西判事係り、濱田檢事關與、眞木、門傳、松野尾辯護士列席開廷されたが、何せ爛熟せる四十女の肉体を威傷した富豪の未亡人と、由來女性には緣遠いものの樣に想はれてゐる僧職との間に傳へられた何事かを桃色に塗り上げた問題丈けに各方面に多大の好奇心を唆つて傍聽人は場外に溢るるの超滿員。椅子を竝べた長橋町性源寺住職宍戸正勝師(三六)宮崎ちよ(三九)遠藤林藏鈴木滑四郎の四證人中緒の被布に頸飾く迄太く活力の旺盛を想はせる樣な肥滿のからだを包んだ僧形の宍戸と、薄紫の訪問着に楚々たる麗人振りを見せた宮崎とは少からず滿廷の視聽を集めた。最初三證人を廷外に分離し宮崎から證人調べに入り、詳細な應答あつたが『暴行、住居侵入の告訴を取下げたのは全然獨自の意思に基いたもので虛心坦懷である』と云ふ一事を除いては、當時に於ける對話の内容及び金錢の受授狀況等に就き被告に有利で無いらしい供述を續け、次で宍戸の調べに移つたが、地方僧職間唯一とも云ふべき朗々たる美音の持ち主である同師も、場所柄けふ許りは往々直面の裁判長すら聽き取れぬ程蚊の啼く樣な低聲に之迄緊張し來つた傍聽人を失望せしむる事一方で無く絕えず裁判長から注意され辯護人からも苦情が出る樣な始末に旋て傍聽席から迄『隨分大聲のタツなんだが……』などと皮肉な私語が起 ・滿廷鮨詰めの傍聽人中には老若色々の女性が交つて居たなど種々な意味に於て異彩ある公判であつた、(六日午後一時再開)

ガソリンカー自殺
昨日鎌田トンネル內で 鼠色洋服着の三十男

昨三十日午前八時頃常磐線上りガソリンカーが神谷村鎌田トンネル中央にさしかゝつた際年齡三十四、五歲鼠色洋服をきた色白の男が飛び込み自殺を圖り頭部其他を粉碎即死した

平署で檢視したが懷中僅か六十七錢在中の蟇口一個の外所持品なく上下に金齒六本を入れ身許其他一切不明のため神谷村役場で假埋葬に附した、ガソリンカー自殺はこれが初めてゞある

拈華微笑
(今日の問題)

慈善と云ふ言葉が絕對的のものでない限り、斯うした漠然たる相對的の文字を遣ふ上に於て之を適法化すべく豫め數字的繩墨を以てその限界を明かにする事は決して生ま優しい問題ではあるまい

×

所詮は個々の問題に當面し、所謂社會の通念からその慈善、僞善、不善を甄別すべきであらうが、假りに世上往々行はるる慈善興行と云つたやうなものが、全收入の一割、二割と云つた額を當初の目的の爲に提供出來るなら問題はないとして、之が全局から觀て殆ど九牛の一毛に過ぎなかつた場合、その文字の使用に就て一寸之を無條件に肯定出來なくなりはせぬか

×

恁うした事は從來も各種團体に於ける資金造成などの場合に一、二絕無ではなかつた事例で、今回行はれた平藝妓の慈善演藝舞踊會に就いても之の事が或る程度迄話題に上せられつつある

×

大掛りな事業の性質上諸經費の增大は、蓋し門外漢の窺知し得ぬ複雑した事情が潛んで居る事であらうが入場者を多からしむる爲に冠した『慈善』の文字に對する手前、極めて少許の金を浮かす代償として拂つた犧牲が餘りに大に過ぎねばならぬなら惑じそうした名稱から遠ざかるべきである

×

尤も組合幹部には地元藝妓の藝道を向上せしめんとする焦慮の外に不純な何物も無い事は推測つくが一圓が高くないと云ふ事も收益は東京方面へ許り運ばれて地元藝妓の負擔にお構ひ無い事も畢竟組合幹部少數の主觀で移して以て直に大衆を律せんとするは甚だしい認識違ひと云ふの外ない

×

事の終始を客觀して靜かに考慮したなら、組合に於ても計劃の動機は主觀的には極めて尊重すべきものあつたにせよ、事業として極めて粗笨であつた節に感づくであらうと思ふ 今後の內省に資する事が肝要である

横領集金人

元平局簡易保險集金係平町材木町居住永戸村生れ薬谷定行(三一)は去る五月好間村隅田川炭礦從業員二十四名の一ヶ月分掛金三十二圓を橫領、尙追究した處個人分を合せ四十四圓餘を橫領してゐた事務發覺、辨償したが此程馘首された

本社振替貯金口座加入 新聞代及廣告料等の御拂込みに御利用下さい 東京一〇八、五六五 磐城新聞社

平署 室井刑事

平署特高係勤務室井末明氏は去る二十六日來痲疹のため材木町の自宅で療養中今一日午前六時五十分遂に逝去した、享年二十七、明二日午後三時茶毘に附し本葬は追て郷里栃木縣那須郡親園村で執行する

氏は一昨年十月八日巡査拜命、平署外勤から特高刑事に拔擢されたもので臨終に際し『國の爲に盡せなかつたのは殘念だ、皆さんさようなら』と二度迄 天皇陛下萬歲を唱へ居並ぶ署員の胸を打つた、尙同氏は新婚僅か五日目であつたと

平區略式一束

夜這。 豐間村薄磯字北街一比佐乘吉方土工森事志賀民治郎(三七)は双葉郡川内村の國道改修工事場の人夫頭をしてゐる中、去る一月二十六日夜同郡大野村野上字山神前裁縫塾櫻井ミサ方に侵入、怪しからぬ振舞ひに及ばんとして果さなかつたが罰金二十圓。又双葉郡久之濱町東町一六漁業高木正藏(二四)は四月一日未明同町南町宮城作次郎方に主人の出漁不在中に乘じ忍入つたが果さず同じく二十圓

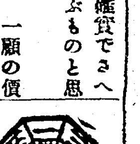
致死。 平町月見町三三古川龜太郎方自動車運轉手大川修一(三三)は二月十六日午先き內郷村綴字七反田地內國道をトラック運轉、同所渡部義雄方前で不注意から警笛に驚き避けんとした同村花見幸八(四九)を轢倒して右股關節部挫創、腹腔內出血から腹膜炎を續發、十八日午後死亡せしめたが罰金八十圓

潛り。 双葉郡上岡村本岡字坊小屋大工職黑沼甚之助(四〇)は昨年八月中から今春にかけ同村渡邊幸男(二六)外十名を千葉縣海上郡矢指村精米業加瀨作治郎方その他に徒弟、又は女中等に周旋手數料を取つたが無免許の廉で罰金二十圓

無免。 勿來町窪田字町通時計賣買業楓龍植(二八)は無免許で去る二月中から小名濱方面で古白金製ノッツル古金指輪等を買受け他に轉賣したが罰金二十圓何れも此程平區より略式命令で處分された

二日
(小名濱測候所發表)

日出 四、二五 月出後 四、五三
日沒 六、五七 月沒前 一、四九
滿潮 前〇、三〇 後四、二〇 干潮 前八、三五 後八、四〇



舊五月十四日 木曜 乙酉 赤口 平 斗宿 新七月二日

諸判定應需 東京市本鄉區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠舘

▲一白 しやしを戒めけうまんの念を去り程能くするが吉▲二黑 苦勞困難も一時をしのげば後は却て樂となる▲三碧 然れば目の前の資もつかみ得ふ事あり注意日▲四綠 分別を失ひ易し長上に相談するが安全▲五黃 進退度を超えず油斷なければ發展する▲六白 辛抱は一時なり幸福は永久と思ひ返すべし▲七赤 背うんの志をいだきて奮起すべき好時機とす▲八白 出世の途開けて幸運に惠まる日萬事大吉▲九紫 意見の衝突爭論の誘發せらるゝ事あり注意

御禮

今般第二回演藝大會に當り各位の絕大なる御後援を得まして盛會裡に終りを告げたる段厚く御禮申上候、尚多大の御祝儀等頂戴仕り候儀之れ亦御厚意の程深謝の至りに御座候、御尊名御記入無之方も有之候に付紙上御厚禮申述候

七月一日

舞踊會後援會 花柳德三郎 杵屋十代 出演藝妓一同 平藝妓屋組合 平料理屋組合

舞踊會 決算報告

一金七百五拾四圓五拾錢也 出演者負擔金 一金壹千五百貳拾五圓也 會員劵代 一金八拾五圓也 祝儀金 一金拾貳圓四拾錢也 雜收入金 計金貳千三百七拾六圓九拾錢也 總收入金 內金貳千九百壹圓六錢也 總支出金 差引金五百貳拾四圓拾六錢也 不足金 右ノ中金五拾圓也 平料理店組合負擔 同金四百七十四圓拾六錢也 平藝妓屋組合負擔 差引殘金ナシ

右ノ通リ

花柳舞踊後援會

支出金內譯

二、九〇一、〇六錢總支出金 內譯七〇、〇〇平町助成會へ寄附金 三〇、〇〇縣刑事協會へ同上 八〇、七五印刷代 六〇、三六聚樂館支拂 一六〇、四四處作舞台新設 二七、六五電氣裝置料 四四、六五汽車賃及自動車賃 一六一、六〇住吉支店宿泊及茶代 二三、一〇豆ウチワ代 三、四七筆墨紙代 九、二三茶菓子茶器 一、一九通信費 二三、五五訪問手土產 四、五〇レコード代 二一、一九舞踊小物代 二三、〇〇人夫料 八〇、〇〇顏師連中拂 二〇八、五〇鳴物師連中拂 三七一、三〇清元連中拂 二〇三、一〇鼕師連中拂 三五九、〇〇大小道具師連中拂 四三四、〇〇衣裳師連中拂 八五、〇一中食夜食費 二二、二〇〇樂屋諸掛り 三五三、〇〇諸謝禮金 二〇、一七諸雜費 計金 二、九〇一、〇六錢

難波醫院 內科 小兒科 入院應需 自炊の便あり 平町大町 電話五〇二番 (看護婦見習、看護婦募集) 醫學博士 難波睦

天下一品マヅイ 素人料理 おでん 榮ちやん 酒にやき鳥 冷ビールにサイダー 平・新田町・電三三番

洋食 喫茶 宴會 コンパル 平町電話666

廣告 毎度有難う御座います。